

高信頼性ICタグ

「光り玉」はいつも必要です

今やRFIDはスイカですかとまで言われる時代です。大阪の地下鉄もスイカが使えるようになりました。スイカ使えないと今はがっかりの時代です。

そもそも電子乗車券は1996年のTRAMETという国家プロジェクトが始まりで国内52社参加の大プロジェクトでした。宇佐美光雄もICカード分科会の主査をつとめ、ICカードの試作から現場での実証試験まで行いました。

このシステムはお金を扱うために、高度な暗号技術などが使われましたが、今のネット技術では「パウダーチップ」でもできないことはありません。

技術はバランスなのですね。決してどの技術が決定的に悪いことではなく、その時のニーズに合わせ最適なものが選択されて行きます。

「光り玉」は現場の問題解決にいよいよこれから威力を発揮していきます。小さな問題でも解決するために多くの課題がでてきます。一つ一つ解決していきたいものでございます。「光り玉」はいつも必要なものでございます。